

人の多くは虚飾に逐はれ、空想を貴ぶ、魔慾の爲に煩悶するも、眞誠なる理想を抱きつゝ、或は女子の品性を向上せしむる事とか、或は婦人社會の風俗を矯正する事とか、若くは慈惠救済の事業に盡すとかいふ様なことはまだ甚だ發達して居らぬ例へば遊廓設置問題の如きは、婦人界の問題としても、又政治上の問題としても、なか／＼考慮を加ふべき重大問題である。娼妓なるものは、一般女子と同性の人間たるに拘らず、文明進歩の今日尙純然たる奴隸的境遇に在りて苦んで居る。然れば成るべく之に同情を表して、以て漸次救済の道を講じ、國家の品位を昂むることは、實に上中流社會の婦人の當然盡すべき義務であるのに、彼等は抑も何を考へ何を爲しつゝあるか、此等の重要な社會的事業に對しては何等の興味をも有せず些少の注意をも拂ふことなく、常に點々として之を看過して居るやうだ。是れ實に吾輩が其意を解するに苦しむ所である。

### 幼稚園の教育

左に記するは日本兒童研究會席上に於て本會主幹中村氏の講話せる大要なり

▲兒童の活動兒童研究を獨り教育家に專任とした時代は疾に過去つて今日では心理學者醫師等の方面よりも各専門に之が研究を試み互に意見を披瀝した處で始めて完全なる兒童研究の基礎が成立つと云ふ次第である、夫れ故幼稚園教育の如きは兒童研究の結果を實地に應用するので昔の如く大人も兒童も同じ様に學術技藝を誦込む主義とは全然趣きを異にして居る實地兒童の教育に當つて見ると又其處には種々なる實驗も産れるもので先づ其の一つをお咄しすれば三歳より六歳迄位の幼稚時代の兒童を観察するに決して瞬間も活動を止めるものでない、爾うして活動するにも同じ遊びは必ず倦意を生ずるものであるから其邊の呼吸は監督者の最も注意を拂ふべき事と思ふ

▲食事の改良 幼稚園の課目と云ふのは唯今の處では遊戯を中心として夫れに音楽、お咄し、手業と云ふやうなものを兒童自然の性理に従つて教へる併し世間には今の幼稚園は教育するためだと云ふもあれば、又幼稚園へ通はせる事は不賛成を唱へるものもあるけれど教育するためだと云へば何うしても小學校的になつて來るのは自然の勢だ左れば是等に對し改良を施さなければなるまいと思ふ一例を云へば食事をさせる時の如き小學校ならば兎も角幼稚園に於て机に並んだ徳生徒各自背を向けて食へると云ふ事はない筈で之は矢張り家庭的に卓を圍んで食事する事に一般に改めたのです又家庭的にすると云つて何も校舍に整を敷詰すとも宜しからう要するに教師は母親の心になり外形にのみ重きを置くのは却つて宜しくなからうと思ふ云々